

都留市博物館「ミュージアム都留」

企画展『郡内村絵図展』

— 甲州街道から富士みちへ —



平栗村絵図
天保10年(1839)(平栗自治会蔵)



下谷村屋敷割絵図
(現在の中央3・4丁目周辺)
天保15年(1844)(都留市所蔵)

会期	4月20日(木)まで		
開館時間	午前9時～午後4時30分 (入館は4時まで)		
休館日	毎週月曜日		
入館料金	一般	300円(210円)	
	高校・大学生	200円(140円)	
	小・中学生	100円(70円)	
	()内は、20名以上の団体料金		

現在開催中の「郡内村絵図展」には足を運んでいただけたでしょうか。

村絵図とは、その村の景観を平面的に描いたものであり、江戸時代、領主・代官など支配者、各村々について調査の必要のある度にその提出を求めました。一口に村絵図と言っても、作成意図、描き手によってその形や表現は様々です。二メートル以上の大きなものもあれば、30×40センチ程度の小さなものもあり、山の木の種類までわかる精密なものから、簡略なものまで実に多様です。

正確に描かれた現在の地図に慣れた目で村絵図を見ると、初めは戸惑いを感じるかもしれません。しかし、村絵図とあなたの近所の風景を重ねてみてください。そして、改めて自分の住んでいる地域を歩いてみてください。新しい地図には描かれていない小さな祠などに会えるかもしれません。

次回特別展のお知らせ
開館一周年記念春季特別展

日本の染織展

— 山辺知行コレクション —

4月28日(金)～

5月28日(日)

日本の染織研究家であり、八朔祭屋台の飾幕の修復を手がけられた山辺館長のコレクションを公開します。



ミュージアム都留は、四月二十八日で開館一周年を迎えます。この一年間、当館事業に関し多くの方々にご協力いただきました。

今年度も特別展、企画展、各種講座などの開催を企画しています。

今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

問合せ

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45) 80008
☎(45) 86008



城山からの富士

入館無料

増田誠美術館企画展

『増田誠』

故郷を描く



増田画伯は晩年、生まれ育った故郷の山河をテーマに、創作活動を展開しました。

この増田画伯がこよなく愛し、描いた故郷の作品群を一堂に展示します。

期日 4月1日(土)～

5月7日(日)

時間 午前9時30分～

午後4時30分

場所 ふるさと会館2階

増田誠美術館

休館日 月曜日、祝日の翌日